

令和7年度 深浦町美術館 企画展 I

心象画家 安田晋司 作品展



令和7年 5/24_(土) ~ 7/20_(日)

開館時間 AM9:00~PM5:00

休館日：月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日）

深浦町美術館 〒038-2324 青森県西津軽郡深浦町大字深浦字苗代沢80-1 TEL.0173-74-3882

入館料 ◆個人/小・中学生100円 高・大学生200円 一般（大人）300円 ◆団体（20名以上1人につき）/小・中学生50円 高・大学生100円 一般（大人）150円

安田晋司さんの作品について

櫻庭 利弘

1. 公募展へ作品出品を続ける！

私は、安田晋司さんとはあまり面識はないが、本人の描いた絵画（油彩）とは何度か対峙した記憶はあるが、県展の会場だったかグループ展での場であったか定かではない。

「独特な画風で個性のある絵だ」と、強烈な印象が心に残っていて忘れないでいる。安田さんの作品を深浦町の人たちに見せたいという思いがあつて、深浦町美術館の企画展にどうかと提案したところ決定して頂いた。早速、安田さんへ連絡すると、快く受けてくれて、今回の展示となったのである。

先日、何か資料にと画歴やカラーでの作品一覧表が送られてきたので、写真ではあつたが、じっくりと拝見することが出来た。資料の中にあつた安田さんのプロフィールを読むと、絵を描くようになったいきさつ（経緯）が書かれてあつた。青森税務署に勤務していた20歳の時に、脳内出血で意識不明の重体となり、1年8か月間の入院生活を送ったとか。「長年のリハビリで回復したものの右手はほとんど使えず、今も頭痛など後遺症に悩まされているが、何もすることがなく、リハビリのつもりで絵を描き始め、唯一の慰めは絵を描くことだ」と言明している。これを読んで私は、安田さんの意志の強さと、絵に対しての執念を感じたのである。

この後、意欲的に作品を発表していく。

平成7年、障害者読売絵画展へ出品して、「優秀賞」を受賞している。また、全国的な公募展である「二紀展」へも出品し続け27回入選している。その他、日象展・河北展へと出品して入選を続けている。「人間の執念を感じる。画面の荒々しさが若者の不安感を表している」と河北展での審査評である。また、「安田さんの作品は、力強いタッチで独自の心象風景を表現する。人物はデフォルメされ、荒々しい色使いで、一見不気味な印象を受けるが、絵に対する真剣な思いがにじみ出でくるような味わいがある」と他の作品展でも高く評価されている。

長年の作品発表が認められて、2013年、むつ市文化奨励賞を受賞している。安田さんの大きな夢は、画家として自立することで「僕には絵を描くことしかない。もっともっと絵を描いて個展を開きたい」と、現在の心境を語っている。

2. 企画展へ出品する作品について

二紀展へ出品してきた作品F100号の作品を中心に、他の団体へ出品した作品とあわせて合計30点による見事な作品群の大展覧会である。

安田さんの作品には「群れ」という題名が多いが、人間の群像を描いているのではない。人間は1人か2人、多くて3人、それに犬が1匹、それに拡大された植物（葉）が描かれている割とシンプルな画面である。「群れ」とは、地球上（宇宙）にある万物（人間・動物・植物・鉱物）すべてが同等の価値があり、「群（ぐん）」をなして存在するという考え方であろうか。

パンフレット用にと届けられたカラー写真による1枚の絵「群れ（帰路）」F100号2017年に入選した作品を見ると、2人の老夫婦が飼い犬と一緒に黄化した葉の植物を背負い家路につく構図（情景）である。黄色は希望、幸福の色でもある。あたたかさ、おおらかさ、しあわせ感が伝わる1点である。今回の企画展では、本物の作品とじっくり対峙して、作品が何を伝えてくれるか、私は十分に鑑賞したいと思っている。

〈日本美術家連盟会員〉

■ 画歴

1994～2016.2018～2024	県展 入選、入賞（特選、奨励賞2回、優秀賞）
1997～2005	日象展 入選、入賞（3回）
2001～2010.2012～2016	河北展 入選
2006.2008～2019.2021～2023	二紀展 入選（一般）
2008.2017.2021	世界堂絵画大賞 入選、入賞（名村大成堂賞）
2013	むつ市文化奨励賞
2017.2019～2024	一枚の繪 全国日曜画家コンクール佳作3回準佳作1回 入選3回
2020.2021	パラリンアートカップ 準クランプリ&しずちゃん賞、 審査員特別賞

現在 二紀会所属(一般)、県展会員

〒035-0083 むつ市大平町52の9 TEL24-1561

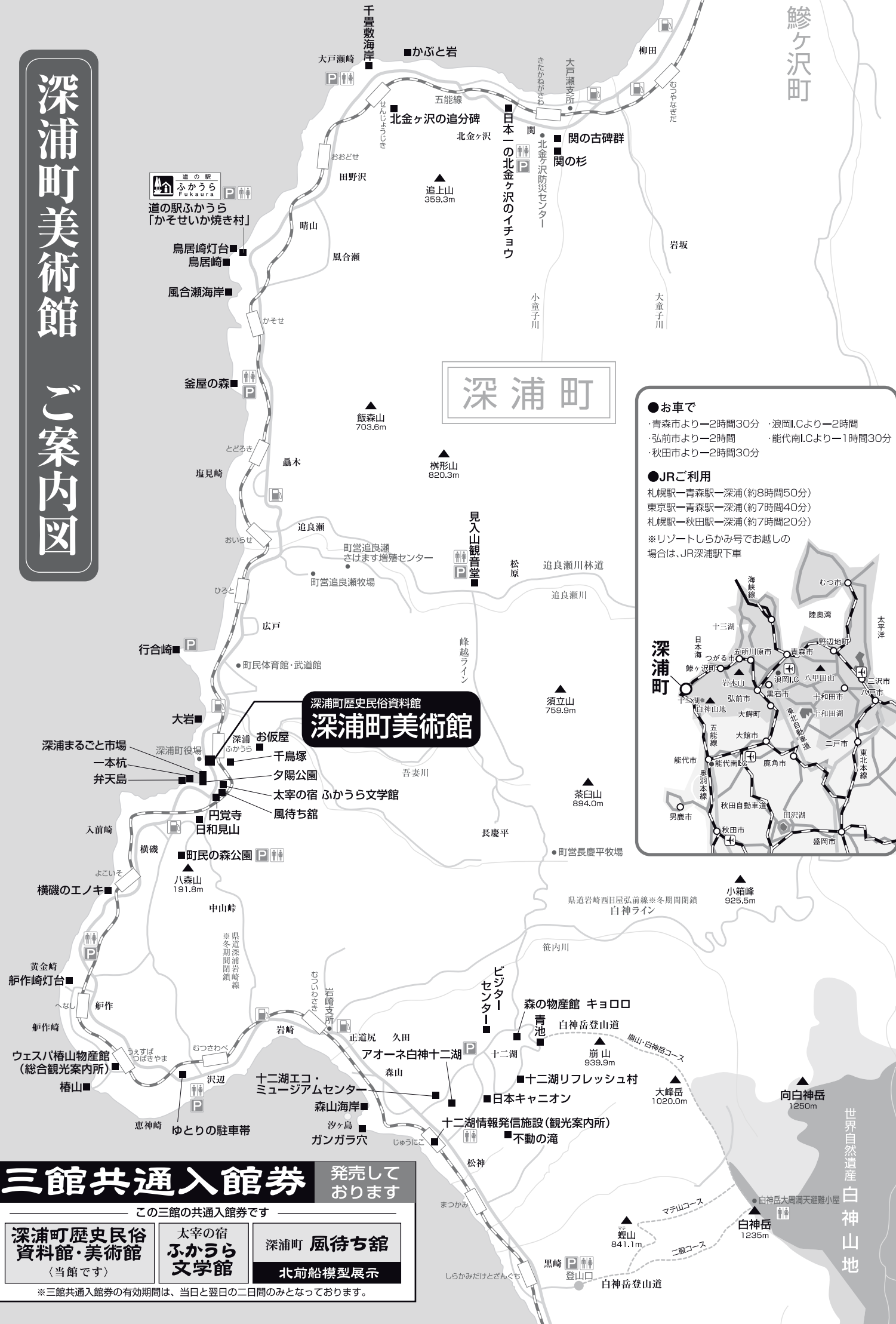


■ 展示作品

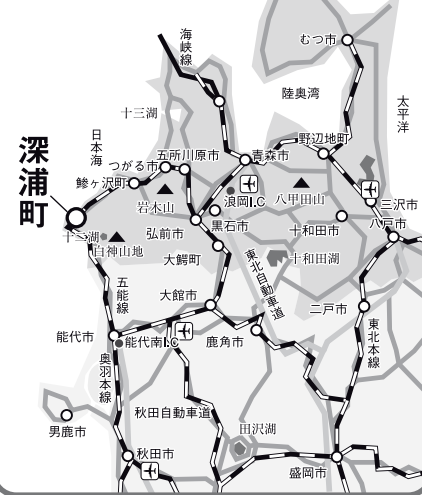
1 『バス停（時の流れ）』	F100号	16 『犬と老婆（結び）』	F80号
2 『バス停（悠々）』	F100号	17 『流れの唄』	F80号
3 『群れ（嬉嬉）』	F100号	18 『バスを待つ老人』	F80号
4 『群れ（帰路）』	F100号	19 『犬と老婆（菜の花）』	F80号
5 『群れ（結愁）』	F100号	20 『嬉嬉の唄』	F80号
6 『群れ（結愁）』	F100号	21 『自然の唄』	F80号
7 『群れ（蘇る）』	F100号	22 『流浪の唄』	F50号
8 『群れ（蘇生）』	F100号	23 『春の菜摘（老爺）』	F30号
9 『群れ（導く）』	F100号	24 『老漁師』	F30号
10 『群れ（風流）』	F100号	25 『祈願』	F30号
11 『群れ（望楼）』	F100号	26 『祈り』	F30号
12 『心の唄』	F100号	27 『老人（帰り道）』	F30号
13 『生死流転の唄』	F100号	28 『絆（盲導犬）』	F30号
14 『絆（盲導犬）』	F100号	29 『絆（介護犬）』	F30号
15 『群れ』	F100号	30 『我』	F20号

計30点

深浦町美術館 ご案内図



- お車で
・青森市よりー2時間30分
・弘前市よりー2時間
・秋田市よりー2時間30分
- JRご利用
札幌駅ー青森駅ー深浦(約8時間50分)
東京駅ー青森駅ー深浦(約7時間40分)
札幌駅ー秋田駅ー深浦(約7時間20分)
※リゾートしらかみ号でお越しの場合は、JR深浦駅下車



三館共通入館券

発売しております

この三館の共通入館券です

深浦町歴史民俗資料館・美術館
(当館です)

太宰の宿 ふうら文学館

深浦町 風待ち館
北前船模型展示

※三館共通入館券の有効期間は、当日と翌日の二日間のみとなっております。

世界自然遺産 白神山地